

かいほつ

53号

題字 山中小学校
6年 神頭 正紘

岡崎市現職研修委員会

特別支援教育部会
(特殊学級担当者部会)

平成17年12月8日 発行



鞍ヶ池公園の水遊び場で



夢を持ち続けて

岡崎小学校長

野村 正文

「夢を持ち続けて頑張れば、暗闇の道にも光が差ししてくることを皆に伝えたい。」

これは、先日行われた東京国際マラソンで優勝した高橋尚子さんの言葉である。言葉だけならきれいごとと思われるかもしれない。しかし現実の厳しい勝負に勝った者の言葉には揺るぎない説得力があった。

今から七年前の夏。第二回パラリンピック世界陸上競技大会がイギリスのバーミンガムで行われていた。第六日目、IDクラス男子千五百メートル決勝を迎えた。午後三時少し前、教え子である彼はコーチとともにスタンドに姿を現した。ペース配分のもので、団長やコーチからきつく言われたからであろうか。予選の時の入れ込みはなく、落ち着いている。

「今日の調子は。」

と聞くと、彼は、

「とても良い。」

と、元氣よい返事が返ってきた。しかし、コーチから、

「野村先生。昨日発作を起こしたんです。」

と心配そうな表情で話しかけてこられた。

「セット、ドン」

スタートだ。体全体に追ってくる緊張を感じながらストップウォッチが時を刻む。必死の応援の声もスタンドに消されていった。

「ゴール」

タイム四分十七秒六三。八位に入賞した。彼のひたむきな精進が入賞と自己新記録につながったと思うと、胸の奥から熱いものがわいてきた。

彼がメインレースとして位置づけている名古屋ハーフマラソンでは、今年も元氣な走りを披露してくれた。今日も仕事を終えてから、練習計画通りに、一人で自宅付近を黙々と走っている。

フルマラソンを走るといふ夢を持ち続けている青年がここにいる。

子どもと親の集い

ブロック交流会

今年度も、十のブロックに分かれてブロック交流会が行われました。事前に何度か担当が集まり、子供たちが楽しめる企画作りを準備してきました。どのブロックもその地域の特徴を生かしたレクやクッキング、模擬店などを企画し、子供たちも保護者の方もとて楽しく参加できたようです。また、多くのブロックで懇談会が開かれ、いろいろな情報交換をしたり、中学校への進路相談をしたりして、親睦を深めることができました。

ブロック名	おもな活動内容
北	親子ハイキング・宝探し・作
葵・城北	ミニコンサート・なかよし横丁・レク
甲山	実習ゲーム・養蚕会
美州	オリエンテーリング・アスレチック
東海	実習ゲーム・流しそめん
南・福岡	カレー作り・実習ゲーム・懇談会
竜南	実習ゲーム・親子制作・懇談
六美・六輪	模擬店・ゲーム・懇談
矢作・矢野	実習レク・クラフト・懇談会

福岡ブロック

福岡中学校 内田 圭佑

七月三十一日に福岡小学校で交流会がありました。最初はカレー作りをやって、その後、体育館でお楽しみ会をやりました。ぼくたちは、「アイダ・アイダ」をおどりました。他にぼんおどりみたいなおどりもありました。

その後、ちがうダンスもおどりました。ダンスでは「なんじゃもんじゃやニジヤ」と商品に関係ある子供向けのダンスをおどりました。

いよいよカレーの時間がきました。自分達で作ったカレーはおいしいです。一番良かったのはカレーです。ぼくは汗をかきながら食べました。



「アイダ・アイダ」をおどろう

竜南ブロック

緑丘小保護者 大隈 すみ子

六月二十一日、竜南中、上地小、緑丘小の三校で交流会が行われました。

わたしたち親子も竜南中で行われたこの会に参加させてもらいました。内弁慶の娘は、はたして皆と一緒に活動できるか心配でしたが、午前中は大好きなクッキングとあって米を研いだり、肉や野菜を切ったりと、喜んでカレーライス作りに参加できました。

また、この機会に娘のことを知ってもらえ、他校の先生方や子供さんたちとも交流できてとてもよかったですと思いました。

これからもブロック交流会、ぜひ続けていってほしいと思います。



にんじんのかわむけたよ

子どもと親の相談室

相談員 吉見 弘子

「そよかぜ相談室」では、主に来年度就学予定のお子さんと保護者を対象とした相談を常時行っています。「病气や障害を持っており、学校での生活が心配」であったり、「子供の園での行動が気がかり」であったりすることが来室の主な理由です。

相談の一環として、六月から各保育園・幼稚園に伺い園児観察をします。友達や先生との関わり方、身辺面での自立の具合等を中心に観察し、先生方のお話をお聞きします。他の資料と合わせて、保護者の方の抱える不安・心配に対して適切な相談を進める上で大変参考になります。

相談に際しては、子供にとって一番伸びていく場所はどこか、輝ける環境はどこかを常に念頭におくよう心がけています。そして春には、どの子も明るい笑顔で入学式を迎えられることを願っています。なお、在園児、在学児童・生徒の相談も同様にお受けし、必要に応じて知能検査も行っています。

私は今年度から相談のお手伝いをさせていただきます。一つ一つの相談が糧となり未熟な点を補っていく日々です。折にふれ、指導いただければ幸いです。よろしくお願ひします。

岡崎ライオンズクラブ招待

社会見学会

平成十七年九月二十一日

岡崎市内の小学校特殊学級の児童を対象に毎年行われている会です。

今年目的は、豊田市の鞍ヶ池公園でした。天候にも恵まれ、親子で、教師と一緒に楽しく過ごしました。

みのりの秋

上地小保護者 柴田 智子

今年の社会見学会は、リニューアルされた鞍ヶ池公園に行きました。リズム遊びで体をほぐし、アスレチックやトランポリンなどの遊具で夢中になって遊んでいました。暑い日だったので、水遊びは好評で、どの子もずぶぬれになっていました。年齢を増すことに遊具で思いっきり遊ぶことが難しくなってきたと思います。さらさらした笑顔をいろんな場面で見ることができ、私も元気をたくさんもらった気がします。ライオンズの皆様、諸先生方、楽しい一日をありがとうございました。



バスでいったよ

上地小四年 畔柳 麗市

ぼくは、くらがいけに行きました。先生と行きました。くるまいすをもっていました。

どうぶつがいきました。うまがいきました。

おべんとうをたべました。ちよつこのこしました。

おちやをいっぱいのみました。なくなったから、せんせいにもらいました。ボールであそびました。木にのつちやいました。

すべりだいであそびました。五ねんせいはどこにいくかたのしみです。



子供の心を大切に

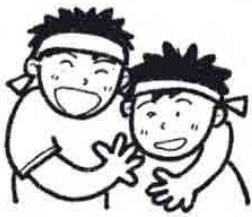
元六北中学校 籠橋 薫子

素直で、純真な子供の心を情緒障害学級の子供たちと三年前に出会ったとき、久しぶりに見つけることができ嬉しい気持ちになりました。

子供たちの持つ素直な心は、いったい何から得たものだろうと考えたとき、六ツ美北部小学校で行われた交流会でのお母さん方の支援の様子や先生方の支援の様子を思い出しました。お母さん方のわが子を思う心のこもった応援、掛け声、先生方の一人一人の子供の特徴を生かした役割分担への配慮等すばらしい支援の仕方があるからだと感動しました。このことは、情緒障害学級の担任になったばかりの私に、自立支援の方法探しに熱中させてくれたきっかけとなりました。

子供一人一人を生かした自立支援の大切さを感じ、自分なりに個別指導計画を考え追求できたことは、教職四十年の終わりにふさわしかったと感謝しております。

今後は、益々、保護者との連携を大切にされ、自立支援の方法に全力投球してくださることを期待しています。



支えられた日々

元南中学校 近藤 正代

特殊教育に携わり十数年。振り返ってみると、生徒一人一人のずっしりとした思い出と共に、生徒や保護者、先生方への感謝の思いでいっぱいです。

社会自立へ向け、交流の一環としてバザーや喫茶店等を設定し、全校生徒、先生方、地域の方々と接する機会を多くし、目標に近づけようと考えた。中でも一番成長できたのは、“交流学級”であったと思う。諸行事の班決めは、すんなり決まる時、ぎくしゃくする時、いろいろあった。努力しても心をなかなか開いてくれないと、悩み涙するリーダーの生徒もいた。班に入りたい時、互いに腹いっぱい話す場を設けてくれた先生。抜かされると分かっていても、学級対抗リレーのメンバーに入れてくれた先生。案の定、数人に抜かされたが、クラスの生徒全員が大声で応援してくれた。種々のドラマの中で、共に成長できたことが多かった。

手の平いっぱいの感動。成長できたのは、生徒たちだけではなかった。



(4)

大会に参加して

東海中学校 森 雄一郎



さわやかな秋空の下、十月二十六日(水)から全日本特別支援教育研究連盟全国大会愛知大会が三日間の日程で行われました。

今大会は「愛と夢の自立をめざして」を主題に、二十四の分科会において特別支援教育の充実と発展を期す具体的な協議が成されました。この中で私は第十五分科会「就学・教育相談」において、「一人一人のニーズにこたえる相談支援」個別の指導計画を軸にした実践」をテーマとして実践発表をする機会をいただきました。発表では主に、「岡崎市の特別支援教育体制」「東海中学校の特別支援教育体制・実践事例」について報告しました。

岡崎市の特別支援教育体制については、「就学指導・進路指導」を軸に、特別支援教育部が中心となって外部機関との連携・協力を図りながら、体制の拡充に努めている点を強調して紹介させていただきました。

また、「就学相談・そよかぜ相談室」の活動にも触れ、充実した市の支援体制を知っていたこともできました。

本校の支援体制については、実践事例を通して、校内支援委員会等、学級や生徒を支え育む環境の整備と各職員の理解・協力が進んでいることを中心に発表させていただきました。

この中で特に、教育相談と『個別の指導計画』の作成・実施、コーディネーターの具体的な活動に重点を置き、生徒・保護者のニーズにこたえる相談支援が成されていることを報告しました。

分科会には養護学校・特殊学級の先生ばかりではなく、コーディネーター、また教育行政に携わる先生方など、様々な立場の教育関係者が遠路各地方から集われ、今日的な課題の提示と有意義な討議が行われました。

助言の先生方からは、適正就学に向けた早期からの教育相談と継続的なサポート、一人一人のニーズを的確に把握した教育相談の役割と支援のあり方等について示唆に富んだご教示をいただくことができ、大変勉強になりました。

研究会紹介

平成十七年九月三十日

小豆坂小学校

「わっしょい わっしょい ひまわりまつりだ。」自作のかけ声で始まった授業。おみこしはまだ未完成。「きょうはみんなでおみこしを完成させよう。」「おみこしのシンボルを作ろう。」「おおきなひまわりを作ろう。」「ぼくはたねのところとはっぱを作るよ。」「ほくは、花びらを作るよ。」「それぞれが作ったものを一つにしたら、『おおきなひまわり』ができあがった。おみこしの中心に『おおきなひまわり』をさした。『ワーツ。』と大きな歓声をあげた。みんなの顔もにっこり。はやくおみこしをかついでひまわりまつりがしたいなあ。



おみこしをかついでひまわりまつり (10月19日実施)

学級紹介

常磐小学校



本年度より、知的障害学級が新設されました。学級の名前は、学校西側の坂の名前「花花坂」から「はなはな組」と名付けました。「はなはな組」には、一年生の遥香さんと四年生の美由紀さんが在籍しています。

遥香さんは、音楽とトランポリンが大好きです。美由紀さんは、パソコンとバレーボールが大好きです。九月にピッチングボードとジャンプ台が入りました。放課になると、他学年からたくさんのお友達が遊びに来ます。毎日、みんなで楽しくジャンプ台やピッチングボードで遊んでいます。

十月二十日には、市教育委員訪問があり、図画工作の授業を参観していただきました。いろいろな道具や絵の具を使って模様作りを行いました。

次は、学芸会です。二人ともやる気満々です。交流学級のみなどとせりふや歌の練習をがんばっています。